



下末吉だより

令和4年4月7日

4月号

横浜市立下末吉小学校



下末吉小学校の70年目が始まりました。

校長 江口 和良

お子さまのご入学、ご進級おめでとうございます。

下末吉のまちを渡る春の風に祝福された卒業生が、先月18日に立派に本校を巣立っていきました。そして、春休み中に満開となった桜を追いかけるように、元気な1年生が入学してきました。子ども達はみな新しい1年の始まりに期待を膨らませていることと思います。私達教職員は、子ども達の瞳が輝き続け、豊かに成長するのを支援することが使命であると、気持ちを新たにしているところです。

さて、昨年度末(3月25日)の修了式で、私はこんな話をしました。

「今日学校から帰っておうちのドアを開けると必ずハルヤスミンが待っているよ。ハルヤスミンは、4月からの新しい学年と同じ背番号が付いたユニフォームをくれるからね。だから、みなさんは、4月になったらその新しいユニフォームに着替えて、元気に登校してください。」

令和4年度は下末吉小学校70周年の節目の年です。昨年度の6年生が、70周年に向けた様々な活動をスタートするのに際し、「下小70周年 未来に繋ごう 下小のバトン！」という素敵なスローガンを考えてくれました。卒業生が6年間の小学校生活で学び、在校生に繋ぎたい「バトン」とは、いったいどんなことでしょうか。



昇降口に掲示された70周年のスローガン

今年度は学校生活の様々な場面で「70」という数字を目にすることと思います。だからその都度、80周年にも100周年にも繋げていきたい「下小のバトン」について、みんなで考えていきたいと思っています。そして、予定では11月の最終の土曜日に、子ども達と保護者や地域の皆様と、下末吉小学校の70歳をお祝いする会を開催したいと考えています。

各家庭の皆様、地域の皆様におかれましては、引き続き、登下校中にお声掛けいただくなど、子ども達の成長を温かく見守ってくださいますよう、お願いいたします。

〈チーム学年経営力強化推進校について〉

今年度本校は横浜市教育委員会事務局から「児童の学力向上」「児童の心の安定」「教員の育成と働き方」をねらいとした「チーム学年経営力強化推進校」の指定を受けました。「児童も教職員も顔と名前が分かる」という小規模ならではの本校のよさをベースに、3年生以上で算数専科を導入し、高学年で積極的に交換授業をするなど、一人の児童により多くの教職員が関わることで、安定した学校生活と学力の向上を目指していきます。